

麻しん予防接種を受けましょう！！

(高校3年生は無料です。実際に払うとしたら、8,000円はかかるそうです)

麻しんは、感染力が非常につよく、合併症も心配な病気です。

○ 麻しんは、どのようにして感染するのでしょうか？

せきやくしゃみによる飛沫感染や接触感染など感染経路はさまざまです。

注意すべきことは、感染力がきわめて強く、麻しんの免疫がない集団に1人だけ麻しんにかかった人がいたとすると、12～14人の人が感染するとされています。(インフルエンザでは1～2人)

国は、この感染力の強い感染症を日本から無くしてしまおうとしています。そのために、予防接種を無料にして、少しでも多くの人に予防接種を受けてもらおうとしているのです。

「別に、麻しんとか怖くないし、感染した時は、感染した時」と無責任なことを思っている人はいませんか？あなただけの問題ではないのです。

他の高校でもかなりの生徒が、すでにこの予防接種を受けています。鶴洋高校の接種状況は、残念なことに低いです。就職、もしくは進学して自分だけ予防接種を受けていなかった。そのうえ、麻しんにかかってしまったということになると・・・どうでしょう。

例えば、福祉系の仕事に就職したとします。予防接種をしていなかったばかりに、自分が感染源になって、入所している方に感染させてしまいました。「無料で予防接種ができる年代だったはずなのに、どうして予防接種をしていなかったの・・・抵抗力のない高齢者のいる就職先を選ぶのであれば、無責任でしょう」と言われるかもしれません。

○ 麻しんの合併症は、多いのでしょうか？

感染力の強さだけで、接種を勧めているわけではありません。麻しんに伴って、さまざまな重たい病気(合併症)が引き起こされます。麻しんにかかった人の約30%に合併症がみられると言われています。30%のうちの半分以上が肺炎で、発生率は低いですが脳炎も合併症としてみられます。この二つの合併症は、麻しんによる二大死因となります。

「予防接種さえしとけば・・・」ということにはなって欲しくありません。

「自分は、大丈夫」と根拠のない自信を持っている人はいませんか。「絶対」はありません。

予防接種に行くのが、面倒くさいと思っている人、予防接種のことが、頭にもなかった人、ちゃんと、考えて行動してください。

○ 過去に麻しんにかかったことがあるのですが、どうしたら良いですか？

今までに麻しんにかかったことが確実である場合は、免疫を持っていると考えられることから予防接種を受ける必要はありません。しかし、麻しんかどうか明らかでない場合はかかりつけの医師に相談してください。麻しんにかかったことがある人が予防接種を受けても問題はないようです。

今回、麻しん予防接種と言っていますが、住んでいる市町からお知らせのあった書類には「麻しん風しん予防接種」とあります。麻しん又は風しんの片方にかかったことがあっても、他方にかかっていない場合は、予防接種を受けることができます。

【注意】麻しんの予防接種をした後、一ヶ月は、他の予防接種を受けることができませんので、冬にインフルエンザの予防接種も受けようと考えている人は、麻しんの予防接種を早めに受けましょう。